

MRI出力抑制評価レポート作成サービスご紹介

- 事業期間が長期に亘る再生可能エネルギー発電事業のファイナンスを組むには、出力抑制評価のレポート取得が不可欠となってきています。
- 当社は、これまでのノウハウを活かして独自に開発したMRI出力抑制評価モデルを用いて分析を行い、発電事業者様のファイナンス構築を支援します。

MRI レポートの 強み

①豊富な調査経験の活用

電力需給の将来推計や再生可能エネルギー政策等に関する豊富な官公庁業務経験をベースに、信頼性の高い将来シナリオを策定します。

②現行ルールを忠実に再現したモデルの活用

1時間単位の需給バランス・変動対応力を確保したモデルを活用。輪番制を模擬した抑制量配分、連系線活用可能量の推定など、最新の知見を反映。

③豊富な評価実績

2016年6月にサービスを開始して以来、100ケースを超える依頼を受注。モデルの考え方やシナリオ設定についてはメガバンクから地方銀行まで高い評価を獲得。

MRI レポートの 概要

■分析対象エリア

北海道・東北・北陸・中国・四国・九州の6エリアにて多数の評価実績あり。
東京・中部・関西エリアの評価も実施中。

■分析対象電源

太陽光(30日・360時間・無制限)、風力(720時間・無制限)、バイオマス(一般・地域資源)それぞれの評価が可能。

■レポート構成

分析モデルの考え方、電力需要・火力・原子力・水力・再エネ(水力以外)・連系線活用のシナリオ設定、分析シナリオの選定、出力抑制評価結果で40ページ程度。

MRI レポートの お見積

■お見積作成条件

分析対象とするエリア数・対象電源数・設定シナリオ数によりお見積が変動します。また、レンダー様との協議までサポートさせて頂くパターンもございます。ご発注頂いてから最終レポート納品までに要する期間は通常1ヶ月程度ですが、お急ぎの場合にはご相談に応じております。

■お問い合わせ先

(株)三菱総合研究所 サステナビリティ本部 脱炭素ソリューショングループ
井上(yushi@mri.co.jp)、池田(k-ikeda@mri.co.jp)までお気軽にお問い合わせ下さい。